

令和4年度 第2回日高市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年2月21日(火) 午前10時～11時
- 2 開催場所 日高市役所3階 301会議室
- 3 公開・非公開 公開
- 4 非公開理由 なし
- 5 出席者 谷ヶ崎照雄会長、中村一夫委員、松本健一委員、半田貞晴委員、島津芳久委員、森孝博委員、西澤幸美委員、高柳美穂委員、小泉光枝委員、山口永子委員、石若久恵委員、渡辺将委員、山中由美子委員、山畑淳子委員（14名）
- 6 説明員 教育センター指導主事 中川智晴
- 7 欠席者 細野彰委員、森怜也委員、伊藤輝雄委員、國分俊幸委員、小林雪子委員、太田麻奈美委員（6名）
- 8 事務局 教育部長 国分央、教育部参事長 嶋伸一、学校教育課長 利根川典正、教育センター所長 下ノ坊圭、生涯学習課長 中條智則、学校教育課学務担当主幹 川口浩二、教育センター指導主事 中川智晴、生涯学習課生涯学習担当主幹 平井世一、生涯学習課生涯学習担当主任 島野和也
- 9 傍聴者 1人
- 10 協議事項 (1) 日高市いじめ防止等に関わる取組について
(2) 令和4年度各団体活動状況及び青少年健全育成対策について
- 11 会議資料
 - ・次第
 - ・小・中学校におけるいじめの実態について
 - 平成30年度～令和4年度いじめ認知件数 資料1-1
 - 令和4年度学校別いじめ認知件数 資料1-2
 - 学校区・学年別「いじめの認知率」 資料2-1、2-2
 - 学校別「いじめの態様」 資料3-1、3-2
 - 学校別「いじめの発見のきっかけ」 資料4-1、4-2
 - ・各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書 資料5
- 12 会議の経過
 - (1) 日高市いじめ防止等に関わる取り組みについて
資料に基づき事務局より説明した。
 - ・委員 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、休校になっていて学校に登校する機会が少なかったと思うが、そのような中でもこれだけの件

数が発生しているが、なにか要因があれば教えていただきたい。

- ・事務局 登校の機会は少なかったが、児童・生徒同士が顔を合わせると必ずコミュニケーションをとることになる。些細なことでも教員が相談されたら積極的に認知をするように取組を強化しているので、教員の意識が変わってきていることが要因だと考えている。
- ・委員 高麗川小学校では、認知件数が73件となっているが、この件数も教員が些細なことでも積極的に認知している結果である。そのため、児童や保護者がアンケートにしっかり記入してくれている。
また、解決までに時間を要しておりご指摘をいただくことが多々あるが、しっかりと児童・保護者から聞き取りをし、丁寧な解決を目指しているため、時間を要していることがある。
- ・会長 高麗小・中学校や武蔵台小・中学校は認知件数が少なく、高根中学校では0件となっている。なにか要因はあるのか。
- ・事務局 児童・生徒数が少ないため、密にコミュニケーションをとることができることが一つの要因と考えている。また、少ないことや0件だからといって安心せずに、保護者には些細なことでも気になることがあったら連絡していただくよう周知している。
- ・委員 同じ児童・生徒が複数のいじめを受けていることもあるのか。
- ・事務局 学校からのいじめ被害を受けている児童・生徒の報告の中には、同じ名前が若干ではあるが報告されているので、注視していく必要があると考えている。
- ・委員 不登校の数はどうなっているか。
- ・事務局 今年度不登校の児童・生徒数は急増している。学校では復帰できるように取組んでいるが様々な事情を抱えており、なかなか復帰できない現状がある。基本的には学校の教室への復帰を目指して取組んでいるが、中学校を卒業しても復帰できないケースがあるため、その先の社会に出てからどのように生きていくかなど、そういった視点で支援をしていく必要がある。
- ・会長 小学生と中学生ではどちらが多く不登校になっている傾向があるか。
- ・事務局 中学生で不登校が増えている。
- ・会長 不登校にならないようにすることが一番大切ではあるが、不登校になってしまった後のケアについてもしっかり行っていただきたい。
- ・委員 中学校では令和2年度から不登校が増えている状況である。令和2年度当初は、新型コロナウイルス感染症の影響で、分散登校等を実施していたため、不登校になっていた生徒も教室に入ることができていた。しかし、通常登校に戻ったことにより、集団に対する敏感な感情があり教室にいられないケースが増えている。GIGAスクールによってリモートで授業を受けることができるため、学習の機会は提供できているが集団・社会への適

応が一番の課題となっている。

- ・会長 高校での現状はどうか。
- ・委員 コロナ禍において、少しでも具合が悪い時は無理して登校しないようにと働きかけが数年続いたこともあり、一部の生徒には無理をしないというのが染みついてしまい、学校に登校できない生徒が若干いる。登校できるように様々な働きかけは行っているが難しい状況である。
- ・会長 小学校での現状はどうか。
- ・委員 小学校でも不登校については課題となっている。いろいろな原因があり、不登校になっているケースが見受けられる。学校としてはなんとか復帰できるように、少しずつ段階を踏んで学校に登校にできるようになった児童もいる。また保護者との連絡を絶やさず、定期的に家庭訪問を行い不登校からの復帰へ取組んでいる。
- ・事務局 令和5年度4月から高萩中学校に校内支援センター適応指導教室を設置し、教室に入れない子の居場所として運用を考えている。

(2) 令和4年度各団体の活動実施状況及び青少年健全育成対策について
各団体より活動内容等報告書に基づき説明

- ・会長 コロナ禍において、各団体とも活動やイベントの縮小や中止となっていたが、3月からはマスクの着用について個人での判断になることや、5月からは新型コロナウイルス感染症が5類に移行することによって、令和5年度からの各団体の活動やイベントコロナ禍前に戻す予定か教えていただきたい。
→各団体ともコロナ禍以前に戻す予定。
- ・委員 日高高校の文化祭では段階的に制限を緩和している。令和5年度は地域の方などにも来場を呼び掛け、コロナ禍以前の通常運営を予定している。
- ・会長 日高市内の青少年の犯罪が増えているか減っているか、どのような犯罪が多いか教えていただきたい。
- ・委員 日高市の青少年の犯罪は目立って増えてはいない。ただ、ニュースで多く報道されているが、特殊詐欺やSNS上での闇バイトの募集などに中学生や高校生が巻き込まれないか危惧しているところである。また、最近では、騒音の通報が入っており、オートバイでコンビニ集まっているケースが見受けられる。通報が入った際には、注意や補導を行っている。